

## 表象メディア論A 配付資料

100年ほどの歴史をもつ芸能であるミュージカルには、このジャンル固有の分析用語がないため、その音楽構成が、より長い歴史をもつ芸能であるオペラの用語で語られる。まして、1980年代に成立し、30年ほどの歴史しかもたないミュージック・ビデオにいたっては、固有の分析用語がないのも当然であろう。

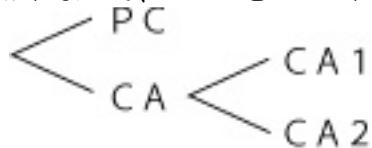
しかしながら、辞書の記述に現れた以下のような記述は、分析の視点形成のヒントになりえよう。

By the MTV era, performance clips had been all but superseded by a conceptual approach whose characteristic surrealism was often more stipulated than invented and whose glib stylistic hallmarks quickly became clichés.

Tom Carson, "music video" Encyclopaedia Britannica Online.

この記述に沿うと、以下のことがわかる。まず、ミュージック・ビデオにおいては、演奏場面 (performance clip) を映しだすのが、もっとも容易で初步的な手法であった。しかし、1981年にMTVすなわち Music Television チャンネルが開局し、楽曲の宣伝手法として映像を用いることが一般化すると、何か特定の考え方や視点をもって制作された映像が開発され要請されるようになり、映像内容は超現実的つまり、現実性を欠くことがよくあったという。また、ミュージック・ビデオの映像は、何かをペラペラと物語る (glib) のが常套手段になった。

したがって、ミュージック・ビデオの映像を系統的に分析するには、まず PC (performance clip) の場面と CA (conceptual approach) の場面を分類し、次に、その CA がタイプ1「現実性に基づかない特定の視点形成」に寄与するようなアプローチなのか、タイプ2「何かをペラペラと物語る」ことに寄与するアプローチなのかによって、CA1とCA2に分類するとよいのではないか。



CA1の事例として、クイーンの『ボヘミアン・ラプソディ』(1975)が挙げられる。MTV開局以前の作品だが、約6分間の作品中、演奏による視点形成がみられるのは序盤の約1分間と中盤の約40秒間に限られており、その他は、演奏場面の実写が占めている、という様態そのものが、新たな手法の時代への先駆とみなせる。

また、CA2の事例として、デヴィッド・ボウイの『レッツ・ダンス』(1983)が挙げられる。ここでは、歌詞には触れられていない物語を映像が独自に展開しているような作品を選んだ。というのも、トム・カーソンの文章を見直すと、「映像が物語る」というだけであれば narrate とか illustrate といった動詞を用いればよいのに、わざわざ glib という動詞が用いられていたためである。

Queen『Bohemian Rhapsody』(1975)の映像の基本線は舞台用のロックミュージカル『We Will Rock You』(2002)にもそのまま使われたといわれる。この映像は未入手により授業では鑑賞できないので、ここではミュージカルのあらすじのみを示しておく。主要キャラクターの名前が楽曲『We Will Rock You』(1977)ではなく『Bohemian Rhapsody』(1975)からとられていることが興味深い。

今から300年後の未来。地球全体は巨大企業「グローバル・ソフト (Global Soft)」に支配されていた。あらゆる娯楽と行動が監視される中で、反乱分子は自らを「ボヘミアン (Bohemian)」と名乗り、地下活動を続けながら切り札となる人物の到来を待ち望んでいた。一方グローバル・ソフトの総帥キラー・クイーン (Killer Queen) は自らの支配を覆すという「伝説のロック」を探し続けていた。ある時、1人の少年が奇妙な夢に悩まされた挙句、危険人物としてグローバル・ソフトの秘密警察長官カショーギ (Khashoggi) に捕らえられてしまう。自らをガリレオ・フィガロ (Galileo Figaro) と名乗る少年は、自分と同様異端視され、捕らえられていた少女と逃げ出し、彼女をスカラムーシュ (Scaramouche) と名づける。逃走した二人は「ボヘミアン」達と接触し、かつて存在した伝説の音楽、ロックについて知るが、カショーギの手によってボヘミアンのアジトは襲撃され、ボヘミアンたちは捕らえられた挙句、洗脳されてしまう。

やがてガリレオとスカラムーシュは伝説の一端を知るヒッピーの老人、ポップ (Pop) から20世紀に存在した偉大なバンド、クイーンが未来に残した楽器こそが全ての切り札となると教えられ、クイーンの伝説の地へ向かう。そこは一面の廃墟だったが、ガリレオが夢の中で聞き続けた詞を繋ぎ合させて歌うと、岩が裂け、ブライアン・メイのギター「レッド・スペシャル」が現れた。スカラムーシュがそのギターを弾き、ガリレオが歌うのは「ウィ・ウィル・ロック・ユー」。その音楽によってキラー・クイーンは倒れ、人々は自由の身となったのである。アンコールとして全員による「ボヘミアン・ラプソディ」が歌われ、大団圓となる。

「ウィ・ウィル・ロック・ユー」 in Wikipedia, <http://ja.wikipedia.org/>, 2012年5月29日参照。

## 疾走する三人の映像作家が自作を語る

世界のトップディレクターがそれぞれの自作をベストセレクションしたロード「DIRECTORS LABEL」が来年発表される。ここではそこに収められる予定のハイライトの一部を抜粋して掲載する

### LAのストリートなら自由を スパイク・ジヨーンズ

僕はやむやみ雑誌の編集部で働きながら、自分でスケーターたちの写真やビデオを撮っていたんだ。それがきっかけでソニック・ユースのミュージックビデオに使うスケーターのフリーティングを撮つてほしいと頼まれて、その一年後にもキム・ゴードンからMOSの共同監督を頼まれた。おそらくキムが一度も声をかけてくれなかつたら、僕はビデオの監督にはなつてしなかつたと想つよ。以来、いろいろなビデオを撮つてきたけれど、好きなバンドのビデオをたくさん作つてもらつたことが、本当にうれしいんだ。

例えはピースティ・ボーイズとの仕事で印象的だったのは、ボーカルのアダム・ヤウチが大規模な予算を嫌つたことだ。「僕らがロッドロールできない予算ではやらな

じ」って。ピースティ・ボーイズは、全部自分たちで、仲間と一緒に作るというやり方だったので、当時僕が所属していたナショナル・ファイナルも、最後には彼の言うことに従うしかなかつた。実際の撮影も、普通は予算に組みこまれる機材とかケータリングとかトレー等々とか、そういうものまで全部切り捨てたんだ。衣裳の話になつて、僕が「知り合ひなら、一日百ドルでやつてくれる」と言つたんだよ。それがケイシー・ストームで、実はそれが彼の初仕事だったんだけど(笑)、とても使いきれない量の服を用意してたよ。フリンジのついたスエードのジャケットにパンツ、それにカウボーイ・ハット。まさに監修監督が着そうな服ばかりで、衣裳からいろんなアイデアをもらつたよ。以来僕には、「アルコヴィ・ソウル・穴」や「アダブテーション」でも衣装を担当してやつてもらつてるんだ。

WAXの「California」で、全身に包まれた男がサンセード・ストリートを駆け抜けしていく映像は、自分でも緊張した体験だつた。ある日電話がかかってきて、一週間以内にビデオを作つて、一週間以内にはオハヨアしだと言はれたんだ。その電話の途中で、LAの通りを火ダラマで走る男をスロー・モーションで撮影するというアイデアが浮かんだ。さらにそれを見てもらつたのが、クルマに乗つた小さな女の子。というアイデアは、クルマでロケハンしてくると

Spike Jonze

### 僕はそもそも解剖が好きなんだ クリス・カーラガム

初めてオウテカの「ヨーロッパビデオ」を撮つたのは九五年。その頃は特殊効果の仕事に退屈し始めていて、徐々に写真と映像への興味が増してきた時期だつたんだ。もともと映画への興味が強くて、キューブリックの「A・I」の特殊効果工房チーフの仕事を依頼されたときは、うれしくてすぐに引き受けたんだけど、一年間この映画に觸れてつらあらだ、頭にあつたのは、ビデオの仕事がしたらもういいだつた。だからその仕事をしながら、空いた時間にはオウテカのビデオを撮つただよ。

当時は音楽にタイムラグを合わせて、とにかく動くものを作りだらう著々に取り憑かれていた。ほんやりと機械の塊が音に合わせて分解してらぐらぐらイメージだけがあつて、で、うちの裏庭にらぐらる

### 人の手は本当に應応して進化した ノル・エドワード

僕とヨークは、どちらの面親ややりたいことを何でもやらせてくれるという環境で育つたので、初めから語り合えるひとがいるらうありました。ヨークと仕事をすることは、彼女が六〇分かそれ以上のアイデアを出してくるべです。彼女はものすごく抽象的な、そして靈感に溢れた言葉を使います。例えば「Human Behaviour」なら人間の行動とか性格に関する話だから、ビデオでは人間がいかに狂つているかわかるように動物を使つたらどうかとか。実際、それが僕と彼女のコラボレーションの出発点になりました。

これはユーロ・ノル・エドワードの「霧につつまれたハリネズミ」の脚本も書いています。僕が世界で一番好きな映像のひとつで、霧の中にらぐらぐらな気持ちになるか

な機械の部品を集めて模型を作り、それを撮影したフリーティングビデオを作つてみたんだ。それを見たハッシュメンバーが、ものすごくつかりしたのを覚えているよ。(笑) そのとき、あいまいなアイデアをちゃんととした映像にまで持つてくのが、最低限ディレクターがしなくてはいけないんだだといつのがわかつたんだ。だからアブストラクトな映像を制作するという野望は、とりあえず治てるこにしたんだよ。もちろんもつと経験を積んでから、もう一回挑戦する気持ちを持ったまおね。

僕は以前、彫刻をやつていたけれど、そもそもは解剖が好きなんだ。特に人間のからだの構造に興味があつて、絵画や彫刻もそれで始めたし、からだに関する映像を作る理由もそこにある。彫刻になら要素は、音だ。音も大好きで、映像と音楽をじっくり鑑めたとき、これは自分のものだつて感じたんだ。

マドハナの「Frozen」は、僕が初めてビッグ・アーチストと一緒にやつた仕事だ。彼女は「Come To Daddy」のビデオにだれよりも早く反応して、彼女から会いたいと言つてくれただんだ。当初の構想では、モーション・ロッドロール。カメラを使って、砂漠でくりこアーティスト撮影をする予定だつた。でもモーションが来て、機材は水没しへなるし、四日間の撮影期間も一日に削られてしまつて、かなり変わつてしまつた。

Chris Cunningham

を延々と描いた映画です。撮影はパリから百キロほど離れた森の中にあるスタジオで行い、持ち主の友だちと一緒に準備をしました。だからしまつちゅうパリから森まで夜、クルマを走らせて、木の枝や葉を通り抜けて通つたんです。そのときくソドライトに引き寄せられてフロントガラスにあたる小さな虫とか、樹を照らすライトとか、夜の空の暗い青の色、そいつたものにもインスピライアされました。

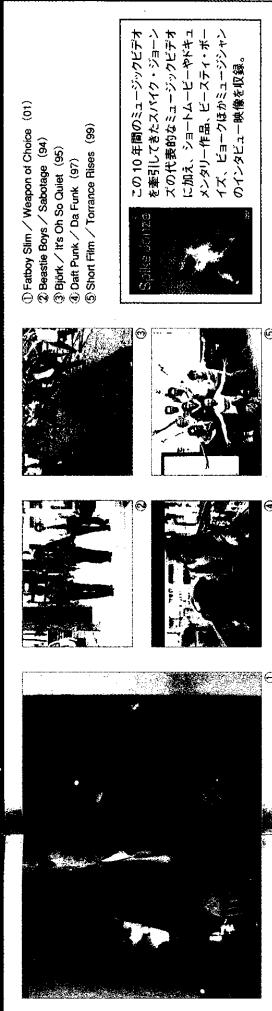
ビデオができるからだと、僕はかなり落ち着かなかつたんですね。彼女がその後すぐソニーに出てしまい連絡がつかなかつたため、反応がわからなかつた。結局それからビデオを六本一緒に作つたので、たぶん気に入つてくれただんだと思います。

\*  
ケミカル・ブラザーズの「Let Forever Be」は、初めからビデオ撮影したらと思つていた作品です。七〇年代にイギリスで放映されたらテレビ番組を題し出すと、室内はビデオの引き継がつた映像なのに、屋外は16ミリ。子供ながらに「これは全然つながつてない」と感つたつゝで、ホカホカ〜ハグに感じたんですね。で、「Let Forever Be」も半分はビデオ、半分はフィルムで撮つて、そつは見えないようになつた。

ここにはもうひとつ重要なアイデアがあるんですね。七、八〇年代のビデオ、エフェクト——映像が万華鏡のようになつた

Michel Gondry

## The works of Spike Jonze



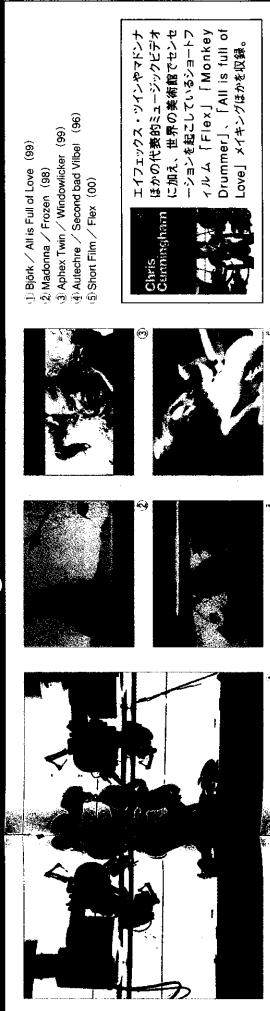
きに腰じついた。とにかくハブルで、編集もボスアロも要らないけど、一発撮りだから大変。わずか12秒くらいの撮影だけだけど、ストレート、スタジオ、エキストラが一秒ひと回をするのが決まってる。せすがに腰もナーバスになつて、ストレートは頭張つても、僕ら撮影隊がうまくいかなかつたりもした。なにしろ一箇所でもうまくいかなかつたら、金部合算しだからね。

このビデオに限らず、ロケ地を考えるど、運はいつもSAのストリートが思ひ浮かぶ。これがやすべつ、クリアを運転したり、スケートボードで駐車場をぶらついたり、と、すこぶる長い時間を過しましたからね。だから街中のケリラ撮影ができるし、ストリートがまるで大きな遊び場みたいに自由に盛りられるんだ。それはWAXのとももそうだし、ピヨークのビデオもそうだ。

「It's Oh So Quiet」のビデオを撮ることになつたのは、ピヨークのレコード会社から。それと「Hyperballad」が送られてきて、どちらの映像を作りたいか訊かれたんだ。「Hyperballad」はどうやら美しい、ぜひ自分で映像をつけだらんと思った。でも「It's Oh

Spike Jonze

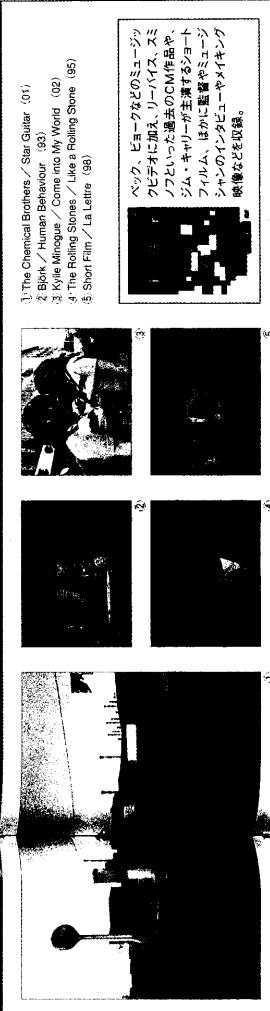
## Chris Cunningham



まったくたんだけ。最初は、たくさんの人形が砂漠にあつて、マドンナのからだから作つたりアルな像が一瞬にして崩れ落ちるなど、それが遡に変わり、さらに次に変化する。殺風景な背景とトドハナビ、いろいろな形に変化する黒いドレスだけで、ほかの要素を排除できなかど考へました。「いくつつかの映像」で「ひとつアドア」を探るという感じだ。結局は、断片的に撮影したものをつけ合わせ、なんどなくもとの全画面に似たものを併べることになつたんだけ。このビデオを作つたあとも遡むかんだけだよ。頭の中にあるイメージがあいまいすぎて、首尾一貫したものを作成できなかつたんじやならないから。

Chris Cunningham

## The works of Michel Gondry



り、アサガオの形に開いたり、トイドバツク・エフェクトに見える效果を、振りつけだけで再現したいと思つたんです。物語は普通の生活を送る女の子がいて、ある朝、彼女が寝坊して化粧品屋の仕事を選ばれそうになる。でも彼女の心は、自分がダンサーである空想世界に引き寄せられていいく。その世界は七つもつて、それぞれの空想のシームに入ると、本物のダンサーを使つてリアルタイムで彼女の姿を増殖させ、ビデオ・エフェクトのもうにしませんだ。実際にビデオ・エフェクトを使つたのは、現実世界から入力ビデオ・エフェクトに変わるものあいだをつなぐモード。一人のキャラクターが複数に変容するところとか、映像が万華鏡のようにならむところなど、これまでの映像のようにならむところがシームレスでしたのです。

\*  
「Star Guitar」のビデオは、弟のオリヴィエと一緒に作りました。トイアート 자체は昔から持つてらたもので、最初は、窓の灯りがメロディシリシクロして、灯したり消えたりするものを考へていました。

Michel Gondry

「So Quiet」を聴いた瞬間、ものたりアーティストのアイデアが浮かんでいたんだよ。しかもそれが完璧すぎるくらい美しいと思えてきて……」(吉川ひづる)吉川ひづるは電話でそのアイデア——歌のあいだは現実の世界がゆっくりと進み、かじこになるとピードアラップして彼女のファンタジーの世界になる——と説明したら、ピヨークが「やけにやりもしちゃう」と言つてくれた。彼女にも「僕らが作るものとのメッセージが耳からんだんだね。ピヨークはすこし直感的な人なんだ。

六

ダダメ・バハクの「コトオホ」やモノヒ「アルコウイシチの次」の前部戯とどう繋じる。あの「コトオホ」は「マルコウイシチ」の一年半前に撮影しただけだが、その脇はわかつチャーリー・カウフマンと脚本を纏り始めていた。二〇一〇年の街をいかにから少ないう光景で撮影するかじか、じかに自然な感じを出せるのを考えて著す。ものさしによるユーモラスな事物を、あくまで自然に描写する、という課題が頭の中にはあったんだ。

「Da Funk」という曲を歌って踊るだけでも、彼らはまだコロニーを出たくなかった。有名な存在だった。でもソルジャーの中には、あつたね。僕が感じたのは、あの曲をかけてながら十四日の夜に長いお水桶を持って行つたら自分のハンマーを手に取らなかったからだね。やめ籠ひを出つたので、

わやかに骨折している大人顔立ちのキャラクターを考えたんだ。で、そのコントを持つて、「SIAに現在中の一人に会つたんだよ。僕より四歳が五歳者とかつたにも関わらず、すごくクールで、冷静だっただ。彼らは自分たちがどうやってビシリルームでアルバムを作り、ソロード会社に丸売りはせず、権利は自分たちで持つているわやつらがとにかく語ってくれたんだ。出版権も持つていろし」としておも自分たちのお金で作つて、その権利も持つ。音楽ビジネスにおいてはれるうまいこと音楽を作ることが気の渓入る作業にならぬじつにしてつたんだ。その考え方にはハシともせられたね。彼らは樂のアイデアを氣に入ってくれたみたいだ。

僕はいつも逆から考ふるのが好きで、例えば、もしもある曲が何かの映像と合わせて

\*

「アドシトコラボ」をキヤメハタリした  
「What's Up Fatlip?」は、わりかしごと  
ジジクビビオのつもりで振り始めた。撮影  
プランは、ただ毎日彼の家に行つて、一緒に  
にアイデアを考えるというものだ。彼がす  
くなくなりドライブだからて知つていただけ  
ど、一緒にいきなまえすれば何かアイデアが出  
てくるよ」と、アドシトコラボの名前を付けて

*Spike Jonze*

なに見ていっても綺きる」とことがない。力強くて夢のやうな雰囲気があるし、有史以来描かれたあつとも美しい女性は、彼の手によるものだと思ってる。

これまで「Frozen」を譲る作品集にはずっと入れなかつたのは、モーハム・ロハーポートルの部分をカットしてしまひたかつたからだ。あのショットは、どれも氣に入つてない。よくないんだ。撮影にどれだけ手間がかかつたかはどうでもいい。ただ彼女が妙漫でコートを着て歌つたり踊つたりしている様子を撮影して入れておくべきだつた。でももしロード会社もアドンナも、あのショットは残すべきだとし言は張つた。金もかかつてしまつた。で、その経験から、もう一度ビデオクリエイターストとは仕事をしならざつめた。そういう判断は業者が下すべきものだからね。

その後、ヒューリックス・シハイの「Windowlicker」を作つておらは、ヒューリックスでもちつやん腰脇クリエイターとしての知名度は上がつたみたいだね。でも大物ヒューリックスによるるぬじヒューリックスを勝てることは、業界ではやめなう。アシハナのヒューリックスの依頼を受けたのは書畫家本多謙で、エキハナヒューリックスではやめた。でしょー一それをやつて、本当にやつたのさ? ヒューリックスがたしかな連中とか自分が好きをなするためにヒューリックスを作るなどひどく気付いたんだ。

\*

あるじかガーラフレハイで聴書で旅に行つたあい、ケンカル・ララヤーズの曲を受け取りました。そのじき聴書の歌から見た景色にトースペイアセれて、これで申のトーンがやメロディを緊張して、歌謡と組み合わやせば、宮廷につまむねにじる歌だ。一部はハニカマータで作った箇所をわざりおやけう、せひやくお詫、歌謡から撮した映像を嵌つてこなす。それがCGには「アリオ」や「アリオ」などといふ言葉がない、何か新しい映像に見えるもうじきするために、若狭にて西方のトクリックを組み合わせませつた。曲のつむじのつむじのトクリック部分を取つて出し、繋がった映像と組み合わせて、映像がループする箇所は、じろじろなる楽器どうしでして、繰り返し見られる映像の音を耳つけ出しました。例えはラムの音の家の映像をシルクローゼや大通りにある聴書と合わせたりなどです。

\*  
進化の歴史を見ると、手ひとつのは、環境に合わせてもこじら效果的に形を変えてきた部分にいやなつてしまふやう。イルカは肺臍類で海に居りましが、ヒコに手の上のような構造が残つています。カナガルの手は、恐る恐るそのやうです。退化し、小さくなつてしまつた。で、ヒトの手は……。ゴ・ブ・ロ・ジ・クに腰をぬいて進化した。(笑) まあ、ソレは四世代ですから、四千四百四十物事を組み合わせ、ゼロからアイデアを織

築でもぬけたへしなひだる風うわや。」(J. H. 著「英國の櫻桃風呂」)出典: 1920

九年半には、ピマークの「All Is Full Of Love」を作ったのですが、ピマークと言ふことは、ハント・オハドコーネ、繰り返すアーチスターが船員船員の如きでオを作つてゐるアーチスターだから、最初はやりたくないかつたんだ。彼女が僕に黒髪を持ってつてゐるといつたらしくねえ、止めねえから、シェルにまかせもうと思つていいだ。ただでさえこうオを作るのは大変なのに、彼がやり遂げたことの重みを評價しながらビートオを作つたらうことは思ひなかつても、でも曲を聴くから、すくなくハスキーであつたからして、それだけで喜んでらうだとは胸騒ぎをなへなかつたが、なにか違うところがでてゐる感じしたんだ。

あの歌謡について、歌謡がわざわざ「ア

「一」からアートホールを駆けだす轟うつる  
る人もちらむだらうかど、それがねわかにま  
ちやがる轟黙だね。轟は「ダ」の口長  
シト。ドキドキには「印鑑わしてらな  
シ」口ハドト画や眼だいじおなら。轟は  
アリマニコクスのトヌキをかくしたが。  
キューピーのシカトの脚輪を画へなら、むし  
る「2001年世界大旅」だ。彼が日本S  
Aから説教を取ぢだん間違れるドキドキ  
のヤハズガ、ヤギの辯の世よどきやドトハ  
Sに上り説教をゆべてらす。「Hトコトハ」  
も「THX-1138」も「バタ・カホーズ」や  
そつだ。皆せのドキドキアコギドリ。ドキド  
キは説教しつらひやうめい。自動車工場の

ピクセル化された場面はひとつもありません。すべてのショット、すべてのコーディが手作りだったので、「一ヶ月以上かかるつてしましました。

カイリー・ノーグの「Come Into My World」は、道を歩きながら歌うカイリーをロマンティックで捉えた映像が基本になっています。都合の一角で洗濯物を干したり洗濯したカイリーが、歩道を歩き、道を渡り、クルマや人の脇を通り過ぎる。カメラはそのあいだ、動きを撮影そのものも止めず、カイリーを光輝していきます。彼女の周りの街の様子が買えてくると、お店で果物を買う人やけんかする子供たち、ベン

ルーはなしで、可能な限り何日も使ってアイデアが出てきたらそれを撮るというふうにやりたかった。ただ撮影を始める一一三日前に気がついたんだよ。自分のビデオ。カメラには高性能のアイクもついているし、もともと僕にはいろいろな質問をしてみようと思った。ならばそれを撮ってみよう。で、質問を繰り返すうち、彼は全部を告白してくれるようになつた。彼も自分の重たい体験を、話すことでも昇華しようと思つていただみたいだ。

雑誌の仕事を長じあらひだやつていただるが、その点で後に立つたと想う。だれかは日本タピオーに行って、その相手を理解して、記事にまとめるならどうつけなうといふのは、ビキノンタピオーと共に興味に留まらね。興味がある人に会うのは、「僕はこうだつて好きだ。たらしくて興味もない人にひいて書く」と記事はだいたい一般的なやつになる。それはビトオドやと同じで、自分がビハシにならアーチストのために作つたビトオドは、こうやらになつたりとせりやくにならう。ビトオドのアーティスチックを氣に入つてしまつたり、ハハニのじが好きでや、じが上はうまくから合わぬら雑名もあるけじね。

なデザイナーが僕は大好きで、だからヨーロッパから“白い天国”みたいな映像を、という依頼があったとき、それは唯一僕にできる感じたよ。

その後、H.I.Y.F.O.S.I.C.K.S.・シードハの「flex」で、僕は再びアブストラクトな映像に復帰した。今度はシングルのビデオを作るやうやなく、僕がリチカードにテープを詰めて、曲をかからべてマイクを逆さに立ててもらう。それで音に合つまうに映像を作つてしまふ。もちろんのトドテアをリチャードに相談してもらひながら、リチャードから僕の短編をフライナスしたり、どううオフラーがあるたんだ。この作品で、僕はアブストラクトな解剖学的な映像を作つてしまつたかった。既に合はやフジシク、多量の血、筋肉、激しい呼吸、精液、これらがすべて夢のような漆黒の空間で起るやうだ。

でもオウトカのじまい同じく、僕は絵画的で抽象的だけど、直接的な表現につながるなしビジュアルを作ろうとしていたのかも知れない。この作品の、特に最初の部分は、完全に思ひ通りにできたと思う。その部分が、抜粋されてロンロに収録されているよ。

チでキスを交わす恋人たち、壁に広告を貼つている業者、うろついてる大と自転車などがカメラに写りこんでくる。

道を何本か渡つて角を曲がるど、カイリーは一分前に自分が出てきた店の前にまた戻ります。ところが一分前のカイリーが、同じ洗濯物を持って、同じクリーニング屋から出てきて、僕らが先導していたカイリーの後ろを歩き始める。彼女の後ろでは、果物を買っている人も二組になり、子供たちも同じもう一組の隣で何んかをし、恋人たちも倍になつて……と、みんなが一周目と同じことを繰り返しながら、隣で一周目に入つた姉さんの行動をしてゐる。ちらにカイリーが三周目に入るど、まだもや最初のカイリーがお店から出て来る。

基本的にはカイリーが一回するアートに、全部の登場人物が増え、街の振りつけはどんどん複雑になつてきます。カイリーがいつも同じ出発点に戻つてくるのは、遺留的眼くなるような反復性の反映です。曲の幾何学性によって、曲の同じ部分で毎回カイリーが道の同じ場所に現れるようになります。ですから、同じ場所で毎回全部のカイリーがコラスを同時に歌えるんです。

Wax 《California》

im gonna move to southern california  
got me a ride  
and a reason to ignore you  
got me a radio  
aint got no speakers  
aint much use  
so im leaving it  
leaving it for you  
im leaving it for you

could be by for you

gotta find a room  
and im running out of money  
staying out late  
but i gotta get up early

why did i move to southern california?  
smile gets so blue  
someone shoulda warned you  
they shoulda warned you

could be by by  
could be by for you